

全鉄連流通動態調査結果表平成23年10月分

(23.11.22)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前 月 在 庫 量		仕 入 れ 量		販 売 量		月 末 在 庫 量		
		9月実績	前月比%	10月実績	前月比%	10月実績	前月比%	10月実績	前月比%	
異 形 棒 鋼	東 京	24,737	101.4	62,551	98.0	62,470	98.4	24,818	100.3	
	大 阪	6,133	101.7	22,194	89.6	22,449	91.0	5,878	95.8	
	愛 知	6,953	101.4	3,410	112.6	3,327	113.3	7,036	101.2	
	計	37,823	101.5	88,155	96.2	88,246	96.9	37,732	99.8	
形 鋼	山 形 鋼	東 京	21,241	96.4	10,224	106.4	9,101	87.5	22,364	105.3
		大 阪	16,940	100.7	10,118	112.9	8,589	97.0	18,469	109.0
		愛 知	10,857	94.1	5,631	97.3	5,432	84.0	11,056	101.8
		計	49,038	97.3	25,973	106.6	23,122	89.9	51,889	105.8
	溝 形 鋼	東 京	14,669	101.7	6,097	79.3	6,393	85.9	14,373	98.0
		大 阪	13,087	98.4	5,565	90.6	5,853	92.1	12,799	97.8
		愛 知	7,100	105.5	3,356	79.0	3,807	98.2	6,649	93.6
		計	34,856	101.2	15,018	83.1	16,053	90.8	33,821	97.0
	H 形 鋼	東 京	25,411	95.8	14,474	107.1	15,353	104.9	24,532	96.5
		大 阪	31,158	88.1	32,463	123.2	29,727	97.3	33,894	108.8
		愛 知	21,936	104.2	11,234	79.9	11,511	87.4	21,659	98.7
		計	78,505	94.6	58,171	107.9	56,591	97.0	80,085	102.0
合 計		162,399	96.8	99,162	102.9	95,766	94.1	165,795	102.1	
コ ラ ム	東 京	7,267	94.3	2,359	97.1	2,651	92.5	6,975	96.0	
	大 阪	11,564	105.0	4,052	95.7	3,448	93.5	12,168	105.2	
	愛 知	2,973	104.2	1,248	110.3	1,309	129.3	2,912	97.9	
	計	21,804	101.1	7,659	98.3	7,408	97.9	22,055	101.2	
軽 量 C 形 鋼	東 京	4,508	92.8	2,351	104.2	2,960	113.5	3,899	86.5	
	大 阪	3,081	99.1	1,891	107.4	1,962	109.7	3,010	97.7	
	愛 知	2,471	97.8	1,049	90.8	1,270	105.0	2,250	91.1	
	計	10,060	95.8	5,291	102.3	6,192	110.4	9,159	91.0	
総 計		232,086	97.9	200,267	99.6	197,612	95.9	234,741	101.1	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京 37、大阪 24、愛知 15、合計 76社

※この資料は経済産業省、鉄路関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品目ながら市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し上記のとおり発表することとなった。その変更内容は①調査対象品種に、コラムを追加②調査対象品種よりブレン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数値をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。